

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）地域説明会
（山田中学校区） 会議録（概要）

■日 時 令和 6 年 10 月 10 日（木） 19:00～21:30

■場 所 山田公民館

■出席者 柴田市長、多田教育長、小崎次長、琵琶教育総務課長、的場学校教育課長、清山教育総務課参事

■参加者 33 名（保護者 24 名、地域 9 名）

1 開会

市長あいさつ、教育長あいさつ

2 説明

「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）」の内容のうち、山田中学校区に該当する部分を資料に沿って説明。

3 意見交換

参加者 1：東児の説明会で山田小の統合の時期が他の学校よりも早いのは、PTA から令和 5 年の 3 月に早く進めて欲しいという要望が出たためと聞いて驚いています。その時の決め方のことはわかりませんが、今の PTA としてはアンケートをさせてもらったんですが、そのように思っている方はほとんどいなかったように思います。保護者の中には知らない方もいます。今の保護者の思いとは違っていると思います。

この計画について、保護者のみなさんにアンケートをとらせていただきました。賛成・反対にかかわらず、心配・不安・疑問がたくさんありました。通学は安全なのか、防災上、津波の方ですが危険なのは信じられない。子どもたちの心のケアやフォローなどがしてもらえるのかなど、たくさん綴られていました。

ここからは私の意見ですが、私も我が子も山田小に通い続けたいと思います。後閑・山田が統合すれば令和 12 年までは複式にならずに通えます。私は、急がずゆっくり子どもたちのために時間をかけて計画して欲しいと思います。今、ここに来られていない地域の方も、山田小が無くなるのはさみしいと言っています。来られていないから賛成では無く、しっかり意見を聞く場を設けてください。

事務局：現 PTA の方とその当時の PTA の方の思いが違うというのは、今、お話をお伺いしてわかりました。教育委員会としては、以前山田中・山田小・後閑小 PTA 会長連名でいただいている要望で、急ぐという事でこの時期ということと、後は複式学級化している後閑小学校のことを考えまして、ある程度の規模ということで答申をいただいておりますので、こういう形での計画をさせていただいております。今のお話についてはご意見としてお伺いいたします。

参加者 2：意見ですが、PTA の在校生の意見を聞くのも大事だと思うのですが、私にはまだ年中の子もがいて、これから入学になるので、あまり意見を聞かれていないと思うので、その意見も吸い上げて欲しいと思います。

参加者 3：うちの息子は、少人数で過ごしたいという思いがすごく強くて、東児に行くのも少し躊躇している状況です。たぶん山田中が一人になったとしても行くかもしれない。そうなったときに、中 2 まで山田中が存続していると思うのですが、うちの子が一人山田中で過ごすことになっても、一学年として見てもらえるのか、中学校でも複式というかたちになるのか、という質問です。

もう一点は、たとえば東児中にいった場合、東児中のほうで通級とかもあるのか。荘内とかにいかないといけ

ないのか、合併すればそこに通級ができるのか。というも聞かせてください。

事務局：中学校についても複式学級になる基準があります。併せて 8 人だったかと思うんですけど、もし、そのクラスでそういう状態でしたら複式になることはあります。

それから、東児中に通級指導教室をとということですが、現在玉野市では荘内中に通級指導教室を設置して、出前通級指導教室という形をとっておりますので、そういったことでご相談に応じて対応させていただきます。

実際、荘内中学校の通級指導教室をサテライトというかたちで山田中学校で対応させていただいておりますので、今後も状況に応じて、必要に応じて対応させていただきたいと思っています。

参加者 4：再編準備委員会でいろいろ決めないといけないですけど、この 2 年間の間に決めることできるんですか。

事務局：間に合うように決めていかなければならないと思っています。間に合うように順番に計画的に決めていかなければならないと思っています。

参加者 4：じゃあ、間に合わないことも、だって今の段階で通学路とかも全然決めてないじゃないですか。検討しますばかりって。

事務局：通学路についても通学安全委員会で決めていくようになるんですけど、だいたいここを通りますという目安はあるんですけど、実際はどういうところを通るというので、ここは少し危ないね、じゃあこちらを通りましょうというのを具体的に現地調査をしながら決めていくというかたちになるので、今こちらでというのがお示しできません。そういった細かなところにつきましては安全なところを考えながら準備委員会のほうで決定していくようになります。

参加者 4：でも、R 9 年度に改編するということを前提に進めようとしているので、それはおかしいと思います。

事務局：R 9 年度にする計画を想定して、そのようにさせていただいているので、計画が策定後に準備委員会を立ち上げてその中でいろいろ決めていくようになります。

参加者 5：再編が終わった後に、中学校にあがるとき希望校を宇野中にするというのがあるそうですが、その制度は残るのでしょうか。それと山田中と東児中が合併した後の生徒数が令和 9 年度 46 人 2 クラスとなっておりますが、何人まで減ったら 1 学級になるのかというのが気になって、そこを教えて欲しいです。

事務局：指定学校変更制度については計画が策定した後も継続します。ただ中身については再編後にいくらか見直しはします。それから 1 クラスの人数ですが、中学校については 1 クラス 40 人というところが決められておりますので、40 人で 1 クラスです。

参加者 5：統合して 1 クラスの生徒の数が増えるので、先生へのケア、統合後の先生の指導の仕方というのが気になります。現状、山田であれば 10 人前後のクラスで見てもらっていますが、それでも 100%みてもらえているかというと、保護者側の視点とすればそうでもないなと感じています。当然、先生も頑張ってくれているんですけど、それが 35 人になったときに、今 10 人 15 人をもたれている先生が 35 人を見ることができるのかというのが気になっています。そのあたりどうふうにされているのか。

事務局：1 クラスの児童・生徒数が増えるということで、今と同じようにしっかりみてもらえるのかということが、保護者の方で心配のところかと思えます。確かに 1 クラスの人数は増えることにはなりますが、教員は 1 クラスの生徒数が増えたとしても、引き続き一人一人をしっかり見ていこうとしていますし、こちらのほうもそこをしっかりと指導をしていきたいと思っています。ご心配もあるかと思いますが、そういった不安・心配がないように指導の徹底、資質の向上に努めていきたいと思っています。

参加者 6：我が子は小学校が大好きで毎日楽しそうに通っています。こちらに通わせてもらえるようになって、子どもた

ちも地域の方も保護者のみなさんも雰囲気良くて、一緒に行く下の子もいるんですけど、年中の子も仲間のように入れてもらい、私自身もうれしい毎日を送っています。1 年の子どもは毎日楽しくて学校に通っていて、保護者としても今の規模に不便さを感じていません。こんなによい学校なのに、本当にこのやり方が子どもたちにとっていいことなのか疑問に思っています。子どもや学校を見て、本当に良い計画をして欲しいと思います。私は反対しています。

この計画で行けば、令和 16 年にはまた複式学級が生じるというところだったんですが、各地区でいろいろなことをすりあわせて新しい学校を相当な労力を使って作っていくのだと思うのですが、新しい学校になってその何年か後には、また複式が生じます。その時どうしようと思われているのかと疑問です。その場のしぎに見えて、先ほど話しにあった中長期的な視点を持った時のことは思えなかったです。後閑と山田を統合した場合、令和 12 年度まで複式にはなりません。胸上と鉾立も同様です。それまで様子を見てでもいいのかなと思います。

子どもたちが安心して通える、保護者も納得して送り出せる環境を作って欲しいと思っています。体育や生活など、1・2 年生も一緒に出来るし、クロームブックで遠隔授業とか工夫はいくらでも出来ると思います。そのための ICT ではないのかと思います。

娘も不安に思っていて、小学校 4 年生になったらなくなるらしいよって言ったんですけど、本当にそれでいいのかなって。すぐ小学校の掃除を頑張っていて、ぴかぴかにしてみんなで一生懸命使っている教室、小学校って次の子につないでいくおさがりって本があるんですが、それを前読んだことがあって、どんどん次に受けついで行くものかなと私は思っているし、子どもたちもそういうふうにして、私も掃除がんばっているよという話を聞いたらすごく大切な場所なんだなって思いました。そういうふうに見える環境で育ててもらえることに感謝しているしありがたいなと思っています。小学校をどうかなくさないでいただきたいと思います。

今回の説明会で終わりみたいというか、あと数ヶ月でだいたいのこと決めますみたいにかかれていますが、あまりにも短いなっていうふうにして、子どもたちの姿を見に来ていただいたり、保護者の声をもっと聞いていただきたいと思います。

最後に、先ほど要望が出ていたのと話が合ったのですが、じゃあもう一度要望を出せば考えていただけるといって、理解していいということか聞きたいです。

この案はたたき台で、まだ変わる可能性がありますよねと先ほどの方も言っていました、ここから一緒に考えていこうという気持ちできていただいているということか理解していいか聞きたいです。

事務局：昨年の 4 月だったと思いますが、山田小学校の方に呼ばれまして、参観日の後だったと思いますが、適正規模の話をしたということ、そういった場をもらいました。

その大前提として令和 5 年の 3 月に要望書をいただいて、その当時の会長さんから、今まで玉野市は何をやっていたのだと、こういった状態になるまで放っておいたのはなぜだと、スケジュールを早めてしっかりとやって欲しいというご意見をいただき、他の方々もしっかりバスは走らせて欲しいとか、いろいろなご意見を当時いただきました。

その時賛同された方がどれくらいいるのかわかりませんが、そういったご意見をいただいているのが一つあります。それと検討委員会の方で 1 年半かけて地区の方々が入っているんな話を代表の方としてきました。

将来、中長期的に、10 年先とか考えていったときに、もっとも子どもが減っていく中で、複式学級の解消であったり、クラス替えが出来る規模っていうのを玉野市全体として目指していかなければいけないのではないかと、いったような話がありました。

そういったなかで、どういった形でやりましょうかということか答申をいただいて、教育委員会の中で配置の部

分、クラス替えだけでいくともっと集約する形にはなるんですが、でも、ある程度残すべきものは残す必要があるということで東地域のほうにも一つ残す必要がありますよねと、中学校もいりますよねという形で今回ださせていただいております。

参加者 6 : 答申では 2 キロ以内が徒歩通学なのに、素案では 3 キロ以内になっているのはなぜですか。子どもたちは少しの距離でもランドセルのせいで歩くのがしんどそうなのに、これが 3 キロ以内の子どもたちは、重いランドセル、学校で必要な荷物を毎日背負って歩かないといけない。今は昔と違って炎天下や大雨の中を身体的に安全に歩いて行けるとは思いません。8 月の素案の Q & A で、統合後の通学路を考えると危険箇所があるに対して、統合後の通学路について改めて危険箇所を点検します、また必要に応じて歩道の整備、スクールゾーンの再設定、カーブミラー・街頭・横断歩道等の設置や道路管理や警察等に働きかけます。と言っていますが、今時点でどのように働きかけているのか、保護者や地域にわかるように教えてください。

事務局 : まず 2 キロについてですが、2 キロがいいと我々も考えております。そのときにどれくらいバスを走らせるのかというところを具体的に考えなければならないときに、2 キロであれば今回 900 人くらいが対象になります。3 キロだと 500 人くらいですけど、バスの台数が 2 キロだと 30 台くらい走らせる、3 キロだと 16 台ということがあります。

もちろん今これだけ暑いという状況もありますし、これまで八浜や東児のほうで説明会させてもらった中でも、今の自然環境含めて考え直してもらえないかというご意見いただいておりますので、ここはしっかり考えさせてもらおうということで、持ち帰らせてもらいたいと考えています。

バスを走らせるときの安全安心、通学路の安全安心はもちろん一番大事なところだと思っています。今も学校側と警察と一緒に通学路の安全点検をやっているんですけど、再編になれば当然変わってくると思いますので、改めて危ないところがあれば直していくとか、安全対策が一番大切だと思っていますので、重点的にやっていく必要があると考えています。

参加者 6 : それらの返事はいつもらえるんですか。決まったらちゃんともらえるんですか。

事務局 : 決まりましたら、再編準備委員会も立ち上げますので、そこでメンバーの選定をさせていただきます。市役所の職員であったり、学校の先生、学校や地域の代表に集まっていたらこうと思っていますので、しっかりそこは周知させていただきます。ただ、今、決まっているものではないので、今の段階ではこういったご回答となります。

参加者 7 : クラス替えですが、山田小学校では絶対行われていませんし、中学校でも、自分は 2 クラスあった最後の学年だと思います。絶対でないことをやれますというのはどうかと思います。クラス替えが行える適正な人数には絶対ならないと思います。

あとは小学校で子どもが本当にこの距離を歩いて行けるのか。僕は昔山田の郵便局に勤めていました。この辺りずっと配達していました。バイクで行くのも大変な距離を子どもに歩かせるのはどうかと思います。統合後 2 キロ以内とか、必ず縮めて考えてください。結局最後は先ほどいった 30 台とか 16 台とかお金の問題になっていませんか。子どもたちのことを考えているのでしょうか。

あともう一つ、市長さんが立候補したときに小さい学校も残しますと言ったのは選挙の時だけだったのでしょうか。

市長 : 当時、この再編の問題はそこまでクローズアップされていなかったということで、私が市長に就任する前に庁内では動きがあったということではあるんですけど、私が就任後にいろいろな事情を聞いて、子どもの数や学校の現状、複式学級になっている学校の現状を聞いて、市全体として学校のあり方は見直さざるをえないのではないかとということで、教育委員会の方で検討するということについては、じゃあやろうというふうには申し上げま

した。

選挙の時にどこまで申し上げたかというのはちょっとあれですけど、小さい学校にももちろん意義はあると思いますし、私自身の地元の築港小学校も1学年1学級ですけど、ちゃんと教育してくださっていて私も保護者として関わっていますし、それに関して悪いとは思っていません。ただ全体で見ると複式学級がだんだん見えてきた、現に後閑小も複式になっているという中で何らかの対応が必要だろうと。

ただ、これは最終的にみなさんのご意見、地域の方のご意見もふくめて聞きながら進めていかなければいけないというふうに思っているところです。

事務局：先ほどのクラス替えのことについてですが、検討委員会の答申ではクラス替えができるだけ出来るようにということの答申がありました。できる限りクラス替えができる規模を目指すのですが、適正な配置という部分もあるかと思うので、どうしても1クラスになるというような形にはなってしまっております。先ほどのバスのことにつきましては、各地区でそういった声をいただいておりますので、そちらのほうは持ち帰って検討して行きたいと思っておりますので、ご意見として承ります。

参加者8：子どもも孫も、後閑小・山田中でお世話になりましたが、複式は上のお兄ちゃんやお姉ちゃんを見て、私も同じようにしたいということも言っていましたし、複式も目が行き届いていいと思います。

それから、今、聞いていたら、小学校をもうちょっと地域との結びつきを考えて欲しいと思います。後閑小は40年かけて今の学校を作りました。その前はとても粗末な学校で、長女はその学校へ入学したのですが、町内が一丸となって40年かけて今の学校を作ったんです。学校に対する愛着は地域ではすごいんです。そういうことを本に活動をまとめているんですが、地域の中の学校、昔は後閑小は地域の運動会でした。子どもだけではなくて地域も参加して、今あまりにも少なくなったからそういうことはあれかと思っておりますけど、もうちょっと地域に育てられています。今でも親が送り迎えしたりしています。スポーツの日には子ども祭りというのを地域でやってくださるんです。いろいろな団体があって、ですからもうちょっと地域の教育力というもの、それから地域にもっと学校の統廃合について知らせて欲しいと思います。学校というのは地域の中心でもあります。だからもっと地域と学校というものを考えてもらいたいと思います。学校の人数だけで意見がどうのと言うだけで無く、いろいろな教育を受けておりますから、後閑の地域としては、今の学校は立派です。そこは避難場所にもなっています。だから廃校になったらどういうふうになるのでしょうか。疑問に思います。

事務局：避難所については今の学校の跡地の活用が決まるまでは今のままご利用いただけるようになります。

参加者9：私の子どもは小学校に上がるまでは岡山市の保育園に通っていたのですが、小学校に上がる時、岡山の小学校に行くか山田小学校にいくか考えたときに、敢えて少ないところに行って地元の友達と過ごすのがいいなと思って、敢えて少ない学校を選びました。競争心とかは確かに人数が多くないとできないかもしれないけど、この前あった運動会でも、1年生から6年生まで、みんながよく知っているんですね。友達のこととか、上下関係は確かに無いかもしれないけど、縦割り班というのがよく出来ていて、小学校・中学校で競争心を持たなくても、小さい頃に一致団結できる力、みんなで力を合わせようということは、少人数だから出来る。競争心とか、人数多い方がいいよねというのは高校からとか、大きくなれば新しい環境になってもまだそういうことが出来るかなと思うので、敢えて少人数でしか過ごせないこの時間が大切かなと思っています。自分もいい大人になって、小さい頃のことをよく覚えていて、義理の父と夫が山田出身ですが、いつも声をかける時は年下でも年上でも交流があるというか、少人数だからこそ、全員が知っているから出来ている地域なのかなと思うので私も反対ですと言いたいですけど、ここまで話が進んでいて反対ですと言ったところで結局なるんだよねという気持ちが正直あります。嫌です反対しています。という意見が通ると正直思っていないで、言っていようにして行きます、

でも結局統合しますよねって思ってしまった、意見を言うのを悩んでしまったけど、言ったところまで思っているのが正直な気持ちで、あきらめている人もいると思うんですけど、反対したからといって統合するのなら、言う必要あるのかなというのが正直で、結構あきらめている部分あります。

参加者 10：今回の統合計画は、ぜひ立ち止まってもう一度考え直していただけますようお願いいたします。先日運動会を観覧させていただきました。かわいいみんな張り切っているし、おうちの方や地域の方の温かい雰囲気とか、先生方の優しいまなざしも見えてとってもうれしい一日だったのですが、こんなすてきな学校をなくすのは地域の損失であって、玉野の教育にとっても大きな損失ではないかなと思っています。すてきな学校は存続してください。文科省で適正規模・適正配置の手引きというのがあってそれには、学校統合に関しては留意する点が数多く示されていますが、玉野市の計画はほとんど計画されて無くて、統合ありきとしか思えません。メリットデメリットについては一般的なことはいわれているんですが、山田小学校で具体的なデメリットは何なのでしょうか。教育活動において何が足りないのでしょうか。運動会のような学校行事の教育環境での課題は具体的には何なのでしょうか。それは後閑小ではどうですか。山田中ではどうですか。胸上小ではどうですか。人数の多い荘内小ではどうでしょうか。何が言いたいかというと、少人数の学校をひとまとめに考えるのではなくて、ひとつひとつの学校をもっと大切に考えて欲しいということです。実際に学校に入って、よいところか課題を見てくださるのかなと。それを把握したうえで保護者や地域の方、先生といっしょに考えて、丁寧に練り上げていくべきだと思います。山田小学校という小学校のこと、後閑小学校という小学校のこと、山田中学校という中学校のこと、そしてそこに子どもたちのことを思い描いてこの計画を練り直して下さることを切にお願いします。ここで立ち止まってください。多くのことを失うことにならないようにしてください。

参加者 11：校舎のことですが、合併になると胸上小学校になるのは、山田小学校の方が新しく耐震的には強いと思うんですけど、僕が小学校 2 年生のときに建て直して、その時に胸上小学校はすでに古い感じの校舎があったかと思うんですけど、6 年生のクラスが 2 学年になるから教室が確保出来ないというのであれば、その 1 年だけは 1 クラスでいいのではないのでしょうか。耐震的な面で見れば山田小学校がいいのではないかと思うのですが、なぜ胸上小学校なのでしょう。

事務局：耐震の面で考えると、胸上小学校も耐震的には大丈夫な学校です。クラス数、36 人のところを 1 クラスにすればいいのではということですが、35 人ということは法律で決められていますので、1 クラスにするというのは法律上できないということになっています。胸上小学校には通級指導教室というものも実施しておりますので、東部地区の方に通級指導教室を設置しようと思います、その部屋も確保する必要がありますし、特別支援学級というのも数学級分教室が必要になってきますので、全て合わせると山田小学校では教室数が足りないということで胸上小学校というかたちになっています。山田・後閑・胸上・鉾立という地域の中心に位置しているという点でも胸上小学校がいいのではということで今回胸上小学校にさせてもらっています。

参加者 12：実際、今、後閑小学校は複式になっていて、私自身中庄に住んでいて、4 クラスあったのでいわゆるマンモス校だったのですが、複式ってどんなものだろうと思い、田井小学校にするか後閑小学校にするか悩んで、後閑小学校にしたんですが、すごくよくて、みんな複式のことを悪く言うんですけど、複式にはすごくいいところがあって、実際複式が嫌な人って田井小学校に行っているんです。後閑学区にも違う人が来るんですよ。少ない人数だからこそ、ここを選んで来る人もいますよ。じゃあその人たちはどうしたらいいのか。2 年生になかよし学級の子がいるのですが、その子と一緒に複式を今、1 年生が 3 人、2 年生が一人で 4 人でやっているんですが、すごく仲良くて、なかよし学級の子も溶け込める。私の時代って、そういう子たちは違う部屋にいる。全然関わりがなかった。ていうのがあったんですけど、後閑小学校はみんな一緒にするんです。運動会もその子を

主体でゆったりとか、リレーもその子を仲間に入れてゆったりしてるので、そういうところもちゃんと見て欲しいと思います。

参加者 13：上の子は山田中学校を希望して、山田中学校に行くと言っていたのですが、友達がみんな他のところ行ってしまうので、泣く泣く宇野を選びました。下の子は山田に行くと言っていますが、その場合は東児じゃ無いといけないのでしょうか。宇野に友達がいるので宇野に行きたいといっているんですけどそれはできないのでしょうか。

事務局：指定学校変更制度を使って、入学の時に宇野中学校に行くという選択は、集団教育という選択があるのでそれを活用して申請していただくということは可能です。

参加者 14：こども学級を山田小学校と後閑小学校で、1年から6年まで土曜日に集まって楽しくやっています。複式になると上の子が下の子の面倒を見る、下の子が上の子の様子を見ていろいろなことを学ぶという形でお互いが学んできます。

そして、この話が進む前に委員会が出した草案では、なぜか最初から複式がダメ、からスタートしています。ヨーロッパの方ではわざわざ複式にしています。少人数の学級をわざわざ作っています。そういうのはなぜ学ばないのでしょうか。というのを感じました。答申の中でも、東の方にも中学校一つ残そうという話になっているようですが、草案から答申が出て、素案が出ました。そして説明会をしてくれて、疑問な点とか意見を言わせてもらっているんだけど、なぜ本当に複式はいけないのか、なぜそんなに複式をつぶそうとしているのか、お金がどうか言っています確かに、施設設備が直せないと、バスが30台、3キロにしたら16台、お金だなというのも言われました。はっきりお金というのが出ているのに、前回の地域説明会ではお金ではありませんと、子どものためですと力説されました。でも今お金と言われました。いろいろ都合のいいことばかり言って、隠していると、ねじ曲げているとすごく不信に感じます。教育委員会は子どもなり大人なり教育を司るところなのにごまかしたりして、子どもが見たらどう思いますか。議事録も作らない、公開もしない、出さなくてもいいんだ。なぜ小規模校がいけないのか、特に複式がいけないのかというのがはっきりわかる説明をまだ聞いてません。納得できている人が少ないのでは無いかと思います。

事務局：検討委員会の中では複式がダメだと言うことは言っていなかったと思います。学校の小規模化というのでメリットもあるんですけど、一方でさまざまなデメリットが懸念されている、そういうところから複式の解消をしようというところと記憶しております。

確かに複式学級は2学年と交流できて複式学級の良さというのはあります。

ただ、今の子どもたちが生きていく上で、この社会を生き抜くための力を養っていく、育成していくためにどういう環境で教育をうけるべきなのかということを考えたときに、自分で物事を考えて、課題に対して自分の力で解決していかなければいけない。そういった力を身につけるためには、やはりいろいろな考え方、いろいろな価値感、そういったものがやはり必要になります。多様な他者と関わる中でこういう考え方もあるのだなと、そういう価値観も必要なんだなと、いろいろな人と関わる中で、そういった社会を生き抜くための思考力や判断力、自分を表現する表現力であったり、さらには幅広い知見であったり、そういったものが必要になってきます。

それを考えたときに、ある程度の集団がやはり必要になってくるというふうに考えます。確かに、お話の中で、高校に入ってからでもというご意見もいただきましたが、やはりそういった力というのは大人になって、大きくなってからではなくて、小さい頃からいろいろな経験の中で学びの中で身につけていくというものです。

そういったことを踏まえまして、やはりある程度の人数の中で子どもたちがいろいろな経験、教育活動を決めていくということがやはり必要であるというふうに思います。

実際に私も学校へ見に行きました。子どもたちの学校生活の様子をみました。少人数で先生と和気あいあ

いと授業をしたり教育活動しています。これはこれで良さだなと感じますが、ほんとにこれから子どもたちが社会を生き抜くために今言ったような力というのは、いろいろな人と関わる中で、培っていかないといけないというふうに考えています。

決して複式がダメというものではございません。

もうひとつ説明させていただくと、複式学級というのは、2 学年を一人の教員が授業を進めていきます。たとえば国語であれば1年生と2年生が同じ時間に一人の教員が別々の授業をしています。ただそれはあまりにも難しいし、子どもたちにとっても大変なんです。

だから、今、そういった形にしないように、非常勤講師をおいて国語と算数についてはそれぞれ複式であっても授業は1年は1年の国語、2年は2年の国語というふうな学びの仕方をしています。ただ、たとえば理科とかといった教科であれば、たとえば3年4年でたとえると、最初の1年は3年で習う内容を3～4年生と一緒に勉強します、次の年は4年で習うものを複式で一緒に勉強しますということで勉強の仕方が違うんです。そういうところでいくと子どもたちの学びというところ、教育の質というところを考えたときに、これは子どもにとっても大変で難しい。少しでも学習しやすい形というものを考えてというところで、複式は解消するというふうに進めているというところをご理解いただけたらと思います。

参加者 15：以前、後閑小の校長先生に、いろいろ教えてもらったときに、算数や国語の先生を、支援をつけてくれて、国語や算数は単級でないと難しいと言ってくださって、教育課程も全部複式になっているので以前お聞きしたときには、足りないものはどの学校もあるけども、足りないものを補っていくのが学校の先生の役目なので、すごく工夫されていて、楽しい学校生活というふうにお聞きしたのですが、複式で困ることがあれば解消するような工夫をしながら複式のいいところを最大限にいかしてというのが教育のありがたさだと思うので、複式が困るから解消した方がいいという考えはどうにも理解出来にくいです。

事務局：なかなか理解していただくことが難しいとは思いますが、こちらとしてはあくまでも子どもたちの学びということを考えてより良いものと考えて進めてはいます。確かに本当はしっかり工夫しながらというのも大事なので努めてまいります。

参加者 16：素案によるとR9年度に胸上小と統合とのこと、みなさんの意見と重複してしまうけども、4校が統合するということですが、いろいろな学校同士ですりあわせというか、調整をしなければいけない。準備期間も生じると思います。私は統合を急いでする必要は無いかと思っています。

たとえば新しい通学路に関しても、どこをかって胸上小に行くのが一番いいのか、子どもたちにとって安全なのか、すごく心配していて横断歩道や信号を本当につけてもらえるのかとか、安全点検をこれから安全通学部会の方がしてくださると思うんですけど、要望を言っても玉野市全体での大改革になるので、他の地域からも統合するので要望が出てくると思います。予算も限られてますし、すぐにすぐ動いてくれないとは思いますが、どの程度点検してもらえるかというところなんです、どの程度してもらえるのかわからないままなので、安全安心が確保されないまま進められてるのが保護者としては不安です。

今、我が子は山田小が大好きで、毎日楽しく通っています。先ほど、いろいろな考え方や価値観が大切だし、他者との関わりもある程度の集団が必要、集団の中で培っていくという話がありました。それは事実だと思います。ですが、小規模の良さもあって、小規模だからこそ一人一人と濃密に関わることができていて、一人一人の関係が濃いと思います。たくさんの人間の中で今学んでいますし、高学年が低学年のお世話をしっかりして、山田小学校の文化、伝統が根付いていると思っています。先生の目も行き届いているので、今の環境がありがたいと思っています。現在2年生は1クラスが11人ですが、素案では令和9年に33人になるそう

です。にもかかわらず、今回の再編の大きな目的であるクラス替えは出来ないということで、クラスは 1 クラス、複式にもなっておりませんし、それであれば統合急がずに山田小で過ごしたいと思っています。

一つ質問ですが、素案を見せてもらったのですが、素案も 23 ページの 4 番、考え方というところに防災上の視点というところがあって、今回の資料には防災上の視点は載ってないのですが、素案を見ると山田小学校よりも胸上小学校の方が津波や高潮の危険があるのかなとデータ的に見て思います。そのことについても考え方とか何も記載がないのですが、我が子を今より危険な場所に通わせるというのは不安です。データ的に危険性が高いところに通わせることになることについてどのようにお考えなのかと思います。

事務局：まずどのくらい安全性の対策をもらえるのかということですが、歩道の整備やスクールゾーンの再設定、カーブミラー・街灯・信号や横断歩道の設置については、道路管理者とか警察署の方にしっかり働きかけていきたいと思っています。先ほどの防災面については、確かに胸上小学校は津波の浸水や高潮が想定されている箇所です。そこについては万が一のことが無いように学校の方でも避難訓練をしっかりしてもらうように、対応していきます。

津波の関係とかあると思うんですが、まずは耐震基準を満たしているという中で、胸上小学校で気になるのは、南海トラフの地震があると思いますけども、津波が来るまでに時間はあると思います。

まず大きな災害があったときには、一番安全な高台に逃げるべきだと思います。胸上小学校もそういった避難訓練をやっていますが、まずは自分の命を守るということが大前提だと思っていますが、その中で津波が引いた後にお迎えになります。

参加者：災害見たことないから言っているのだろう。東北行きましたよ。ひどかったですよ。誰が迎えにいくんだ、遠くなった学校へ。

事務局：まずはどこの学校もそうだと思うんですが、学校の中でしっかりと高いところへ逃げていただく。

参加者 17：質問ですが、仮に令和 9 年に統合することになったら、今いる先生方は、先ほど今いる先生方の指導もしっかりしていきますと言っていたんですが、資料にもあるとおり、教師主導の教育から子ども主体の学びということになってきているので、一人一人の意見を言うことや自分で考えて小学校でも自主勉強やったりとか、子どもが発言することも昔と違って増えているので、急に 10 人から 30 人に増えて、先生も一人では難しいのではないかと思うのですが、その辺り、先生を増やすとか話が出ているのか教えて欲しいです。

事務局：教員についてですが、仮に 1 クラスが 30 人になったとしても、基本教員の人数は変わりません。今でも教育というのは昔と違って、私ども教員が一方向的に一斉授業をするのではなくて、子どもが主体で学び合うという授業をしています。そして一人一人を褒めて最適な学びということで一人一人をしっかり見ながら指導支援するというところで、人数は増えますが子ども主体の授業であったり、そのような指導支援ができるように、今教員もしっかり研修していますし、市内の大規模校で 1 クラス 30 人以上の学級の先生方も実際にそういった指導をしています。市全体で教員の指導力をあげるように、今もしっかり研修や研究をしているところです。1 クラスの人数が増えることで一人一人に目が行かないことにならないようにしっかりと個別最適な一人一人を大切に指導を進めていくようにしているところです。

参加者 17：やっぱり環境ががらっと変わりますよね、胸上小学校に今行ってない子どもたちは、友達も変わる、環境も変わるということで、先生というのは大きいので、最初だけでもというか変わるときは心が乱れる子どももたくさんいると思うので、その辺考えていただきたいと思います。

事務局：配置の教員は変わらないと申し上げましたが、大きな環境の変化ということで、子どもたちの心のケアは必要と考えています。支援が出来る体制であったり、人員の確保もしっかりとチェックしていきたいと思っています。